

## 第5回地域振興事業（丘の公園）あり方検討委員会 会議録

- 1 日 時  
平成29年10月12日（木）午後1時30分から午後3時30分まで
- 2 場 所  
山梨県庁防災新館403会議室
- 3 出席者  
（委員）小口委員、桑田委員、小林委員、立石委員、萩原委員、  
村田委員、宮崎委員（50音順、敬称略）  
（事務局）秋元企業局次長、櫻井企業局総務課長、須田総括課長補佐、  
経営企画担当（3名）、財務担当（1名）
- 4 会議に付した議題等  
議 事  
（1）地域振興事業の集客策について（委員からの御意見）  
（2）施設の規模について  
（3）その他

### 地域振興事業の集客策について

#### 資料1について事務局から説明

（会 長）

これまで、個別テーマで色々な意見交換をしてきたわけだが、最終的な報告書をつくるに当たり、系統だった整理をしていきたいと思う。

（各委員）同意

（会 長）それでは先ず集客策について、御意見、御質問があるか。

（委 員）

私の中長期というお話をさせていただいたが、丘の公園がこれから集客していくには、地域の資源を巻き込んでいかないといけないと思うし、県の施設なので、地域を活性化する役割も当然担っていると思う。

そうすると、環境の整備から地域にどんな資源があるのか整理した上で構想を練っていかないと、5年ごとに同じことの繰り返しで終わってしまうのではないかという危惧を感じている。

たとえ、次の指定管理者が決まったとしても、並行して、そうしたことをやって、途中からでもできることは指定管理者と共同でやっていくとか、そうした予算を県で設けてやっていかないと解決に結びつかない。

(委員)

指定管理をやっている結果の話があるが、指定管理をやったことによって、どれだけの効果があるのかを分析しないと意味がない。

例えば、借財が多いことに基づいて、どうするのかという話はあるが、そもそも借財自体に関して民間企業は、売却するにしても関係ない話なので、そこはあり方の部分がある程度イメージできる環境がないと、結局、歯抜けの状態に進むような気がする。

(委員)

企業局でやっていた時期と指定管理になった時期を私は見てきているので、見た感じでは、経営自体も凄く良くなっていると思う。

16年前頃は、サービスのレベルもかなり低いし、その時の売り上げはどうだったかは、当時、客さんの入込が多かったのも、あまり見えないかもしれないが、私が肌感覚で感じたのは、これは駄目だなというところがあったので、それはかなり改善されていると思う。

今の指定管理で受けているところの経営のあり方の部分に関しては、地元で友の会をつくるとかスイミングスクールをやるとか、ヨガの教室をやるとか、そんなことをやって、かなり努力をしていると思うが、如何せんある施設を使ってできる限界っていうのがあって、やはりそういうことを考えると中長期的にもう少し集客がきちんとできるような施設を考えていく中で、経営も考えていかないと、どんどんギリ貧になっている感じがする。

かなり努力はしていると思うが、地元との連携ということでペンションとか宿泊施設があるが、過去にいろいろなことはやり尽くしているのも、そこにも限界があるし、抜本的に考えるべき時期に来ている。

(委員)

皆さんと全く同じ意見だが、丘の公園ということに限っては企業局だが、丘の公園が良くなれば清里全体が良くなるなどということは有り得ない。清里が良くなって丘の公園が良くなる。

さっき農政との話があったが、もっと県全体の中で、清里をどうするかを考えていくべき話であって、一拠点としての丘の公園だけを一生懸命考えても限界がある。

(委員)

平成25年の報告書に色々策を講じてあるが、先程のそれが数字的にどういうものかが出てないということだが、感じとしては成果が出ているが、もう少し細かく色々集客策をやったものを、どのくらい伸びているのかつかんだ方が良い。

そこには、強みがあると思うので、そこを気がつかないで、新しい他のことをやるのではなく、年次的にどのくらい増えているのか減っているのかなど、数字できちんとつかんだ方が良い。丘の公園は強みは持っているはず。

(事務局)

色々な御意見感謝する。先ず、地域の活性化だが、これも、今後、平行してやってい

きたいと思っている。

先日、委員とお会いしお話ししたことが、例えば、ペンション経営も、今、大変厳しく空きペンションが増えているということで、これは数年前、県が人口減少対策で検討したことが、空きペンションを利用したサテライトオフィスとか、そうして人を呼んだ場合に地元の施設を使ってもらおうとか、多方面で有機的に結びつける点が不足していたと考えている。

これは、委員とお話しした折も、丘の公園を含めた清里全体が良くなるという観点で見ることがあるご指摘をいただいております、そのことについては、時間的な制約はあるが、先程の農政部の話と同様に、例えば、小林委員の清里観光振興会の活動と連携や、地元の市との連携等をやっていく必要があると考えている。

指定管理者制度については、前々回、PFIコンセッション方式を検討したが、準備期間も長くかかることと、借財が大きい問題になっており、今日、それについては、他県で見てきた結果等も説明するが、地域振興事業会計自体が赤字続きだと話にならない。

このところ、指定管理者には負担かもしれないが、多少なりとも地域振興事業会計が黒字になっているのが実態である。

何故こんなに大きい借金を背負っているかということ、経営がうまくいかず、設備投資だけの借金だけではなく、赤字の借金も巨額なものがかかっているということで苦しんでいる状況だから、これを少しでも少なく減らすための方策として、今、申し上げたような連携であるとか、委員からも御指摘があったように、前回の報告書にある学校寮や大学の連携等が不足していた分もあったので、そういうことも振り返って、今後、やっていきたいと思っている。

数値的なものは、効果測定を今後の指定管理者とも連携しながらやっていく必要があると思っている。

いずれにしても、今後、集客策については、もう少し積極的に関与して、地元の北杜市、清里観光振興会、その他の団体等の連携についても一歩前へ踏み出していきたいと考えている。

(会 長)

皆さんの意見を聞くと、抜本的な見直しというか詳細な調査というか時間をかけてという話が多かったと思うので、その辺を報告書に記載していけば良いかなと思う。

(会 長)

事務局からは以上でよろしいか。それでは、議事を終了する。

以 上